

卒業生調査 アンケート回答まとめ(2023 年度)

今年度は、2014 年度と 2019 年度の卒業・修了生に対してアンケートを実施した。
今回は回収数が少なかったため、単純集計のみを整理するものとし、次年度には回収数を増やす工夫を検討する。

1. アンケート実施の期間等

2023 年 8 月 11 日～9 月 8 日

グーグルフォームによる調査票配布と回収

2. アンケートの回収数とプロフィール

① 回収数：15 通

② 卒業・修了所属

製造学科	6
建設学科	8
ものづくり学研究科	1
計	15

③ 勤務先の業種

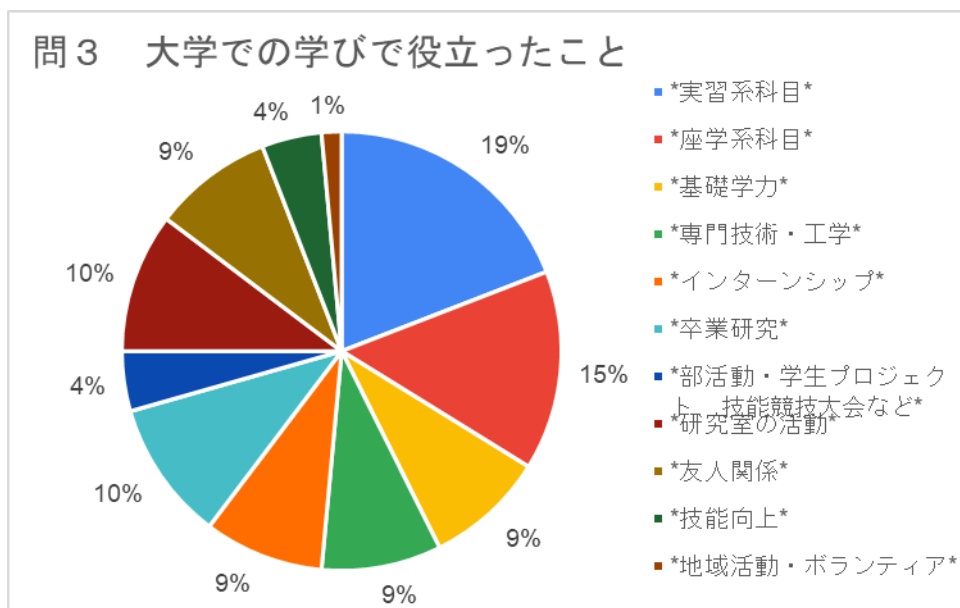
製造業	5
建設業	4
不動産業	1
サービス業	5
計	15

④ 勤務先の職種

設計技術職	3
生産技術職	3
技能職	5
管理監督職	1
その他	3
計	15

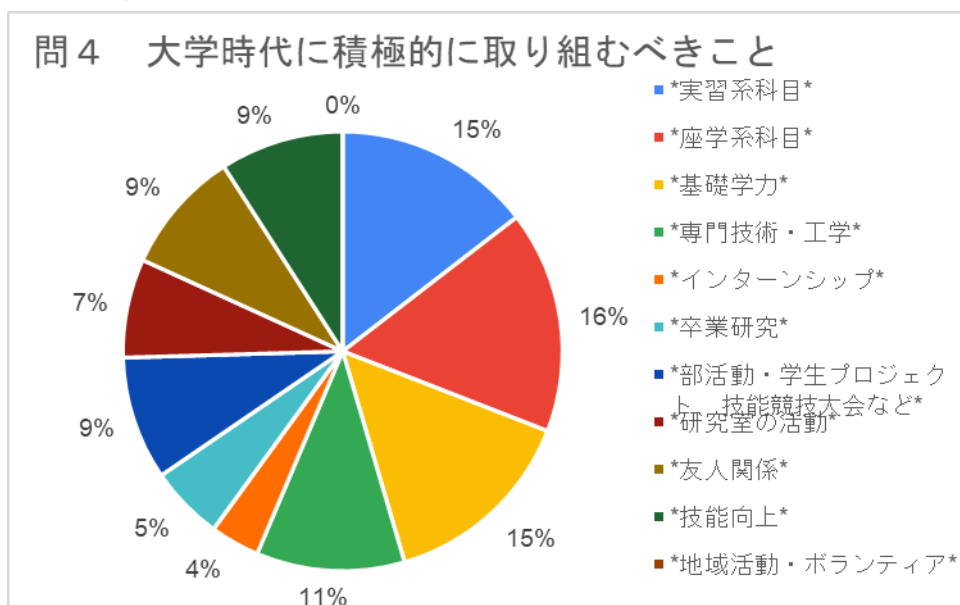
3. 調査結果

- ① 問 3. 大学での学びが役に立っていることがあれば具体的に教えてください。
(複数回答可)



ほとんどまんべんなく挙げられているが、多いものは、1 位が「実習系科目」、2 位が「座学系科目」で、両方を挙げた人が6 割であった。
3 位が「卒業研究」と「研究室活動」であるが、他の項目とも拮抗している。
逆に少ないのは、資格取得、語学、就職活動がゼロであった。

- ② 問4. 学生時代に積極的に取り組むべきだったと思うことはありますか？（複数回答可）



この問いもかなりまんべんなく挙げられているが、1 位は「座学系科目」、2 位が「実習系科目」と「基礎学力」である。

問3 との比較では、「基礎学力」「部活動・学生プロジェクト等」が問4 の方が人数でも割合でも多くなっている。

- ③ 問5. 大学で学んでおきたかったことがあれば、教えてください。（自由記述）

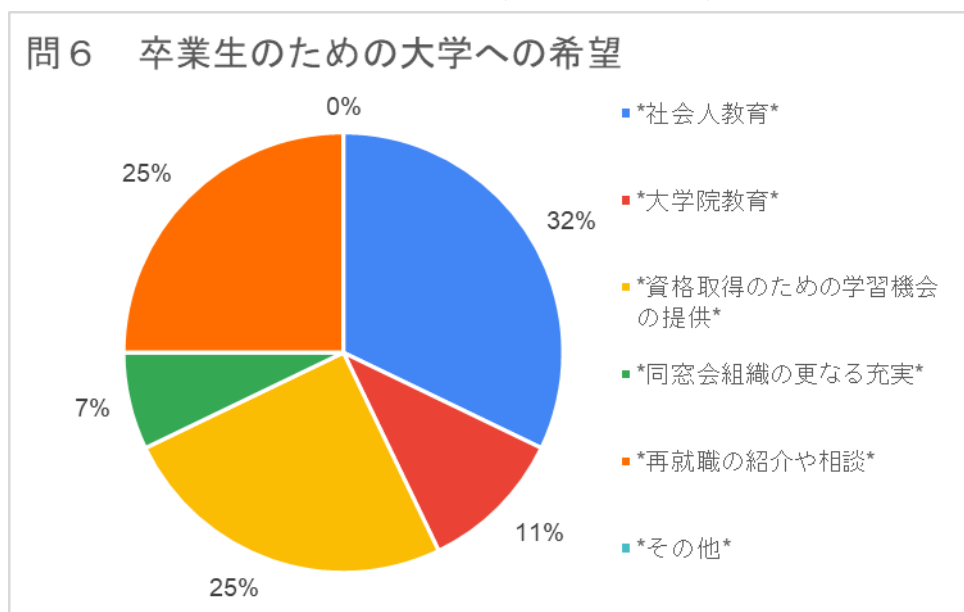
資格試験対策

資格取得

PLC 溶接 生産技術 基礎工学
技術者・エンジニアとしての仕事のやり方・考え方
BIM
研究倫理

問4では挙げられていなかったが、資格関係、新しい技術関係などのニーズが挙げられた。

- ④ 問6. 卒業（修了）生のために、どのようなことを大学に希望しますか？当てはまるものを選択してください。（3つまで選択可）



1位が「社会人教育」、2位が「資格取得関係」、「再就職の紹介」であり、この回答は以前の卒業生の調査とも類似している。

- ⑤ 問7. その他、大学に求めることがあれば、自由にご記入ください。

1 実習授業が選択性になって後輩が困っている。
2 技能五輪や資格取得のチャンスが少ない
3 加工機の許可申請書が厳し過ぎて、物を作るチャンスが失われている
4 卒業生が有償でも良いので加工機の貸出が可能になって欲しい。
5 卒業生が気軽に大学に遊びに行ける雰囲気を作って欲しい。
6 在校生の意欲を煽るような授業を増やしプロジェクト等をもっと増やして欲しい。
7 否定から入らない物作りの指導が出来る先生をもっと増やすべき。
転職する際の転職先の案内
知名度の向上

現在の大学の制度等に関する意見が挙げられた。

また、知名度の向上という発言は、説明しなくてもわかってもらえる大学になってほしいということかと思われる。

○ 留学生の能力が高い。 など

Q2.本学では、以下の知識や資質を身に付けた学生に対して学位を授与する方針を掲げています。卒業時にそれらが身に付いていたと思われますか？

評価点→	5	4	3	2	1	合計
①高度なもののづくりに対応できる基礎学力および工学の専門知識を有する	1	3	2	0	0	23
②ものづくりのための基本的な技術・技能が実践でき、それらを体験的知識として応用する力を有する	2	1	3	0	0	23
③工業製品又は建築・土木等のものづくり実務に関する深い理解を有する	1	3	2	0	0	23
④ものづくり現場での課題創出と実践的な課題解決に取り組む力を有する	1	3	2	0	0	23
⑤豊かな教養と国際性を持ち、社会性、創造性、倫理性を有する	0	3	2	0	0	18

- (評価点)
- 5：身に付けている
 - 4：どちらかと言えば身に付いている
 - 3：一概に言えない
 - 2：どちらかと言えば身に付いていない
 - 1：身に付けていない

合計は、上記の5～1のポイントに企業数をかけて合算したものであり、まとめは以下のとおり。

- ①から④までいずれも同等程度の評価となった。
- 5の評価をつけられた項目は企業によって異なっており、各企業が求める人物像による差異や、実際に就職した学生による差異が出ているものと思われる。
- ⑤については少し評価が下がっており、今後の検討が待たれる。

Q3. 技能重視の技術者教育による本学卒業生・修了生について、どのように評価されていますか？

- ① 貴社の求める人材像に合致する (5 社)
- ② 貴社においては有効性を発揮できないが、産業界全体としては育てるべき人材像である (1 社)
- ③ 他大学との違いがわからない (0 社)
- ④ 有効であるかどうか判断できない・どちらともいえない (0 社)
- ⑤ あまり有効ではない (0 社)
- 5 社に①を選択していただき、今後も採用していただけると期待をしている。
- ②を選ばれた1社についても、業界の人材像として評価していただいているため、今後、欠けている部分等へのご意見などを検討材料としたい。

Q4. ものつくり大学の卒業生・修了生について、どのような点を評価されて採用されましたか？

- ものづくりが好きという点を評価した。
- 現場を嫌がらない、現場が好きという点を評価した。

- 協調性やマナーが良い学生を採用した。
- 建築への専門知識を評価した。
- 今後も業界と大学で人材育成に取り組んでいきたい。
- コミュニケーション力が高い学生を採用したい。
- ひた向きに取り組む姿勢が感じられる学生を採用した。 など

Q5.社会人として必要なこと、学生時代に身に付けておいて欲しい能力や資質、経験しておいて欲しいこと等を教えてください。

- 学生時代に何かをやり遂げた経験、実績があるということは、継続力、向上心、探求心などがあり、今後の伸び代が期待できる。
- 建築の施工管理を希望する学生には計算能力が大事である。
- コミュニケーション力、主体性、協調性を養ってほしい。
- 素直であること。
- 様々なことに興味をもってチャレンジして、壁にぶつかることの大切さも学んでほしい。
- 計画を立てる能力と、それを遂行する能力を身に付けてほしい。
- 気づいたことを声に出すような姿勢や、知的好奇心を身に付けてほしい。
- 機械に頼りすぎず、今手に入るもので工夫して解決する知恵を学んでほしい。 など

以上